



2022年 2月 9日

各 位

会 社 名 株式会社フジクラ  
 代 表 者 名 取締役社長CEO 伊藤 雅彦  
 (コード番号 5803 東証第1部 )  
 問 合 せ 先 経営企画室長 山中 正義  
 ( TEL. 03-5606-1112 )

## 当社子会社における特別損失の計上及び2022年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社の子会社であるFujikura Electronics (Thailand) Ltd.(FETL社)の2021年12月期の個社財務諸表において減損損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

なお、当該減損処理による、2022年3月期の当社の連結財務諸表に与える影響はありません。  
 また当社は、2021年11月8日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1.当社子会社における特別損失の計上について

FETL社の今後の事業見通しを勘案し将来キャッシュフローを見積もった結果、同社において固定資産の減損処理を行いました。これにより、同社の個別財務諸表において11,977百万円(3,502百万THB)の特別損失を計上いたしました。

なお、当該固定資産は連結財務諸表において減損損失を計上済であることから、2022年3月期の当社の連結財務諸表に与える影響はありません。

#### 2.2022年3月期通期連結業績予想について

2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

(連結)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	644,000	30,000	25,500	15,000	54.43
今回発表予想(B)	650,500	32,000	27,500	17,000	61.68
増減額(B-A)	6,500	2,000	2,000	2,000	
増減率(%)	1.0	6.7	7.8	13.3	
前期(2021年3月期)通期連結実績	643,736	24,422	18,380	△ 5,369	△ 19.50

#### ※業績予想の修正の理由

銅のヘッジ取引に伴う先物契約の評価損や物流費の高騰による利益影響はあるものの、データセンタ、FTTx向け需要及びエレクトロニクス事業部門における巣ごもり需要が引き続き堅調に推移することから、売上高、営業利益、経常利益は、前回予想を上回る見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、今般の新型コロナウイルス感染症再拡大による損失リスクを保守的に織り込むも固定資産売却益の計上等があることから前回予想を上回る見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上